

2021年7月2日

日本銀行大阪支店

## 関西金融経済動向

### 【全体感】

関西の景気は、新型コロナウイルス感染症の影響により、サービス消費などへの下押し圧力は一部残るものの、全体として持ち直している。

輸出は、増加基調にある。設備投資は、増加している。個人消費は、まん延防止等重点措置が実施されるもとの、サービス消費への強い下押し圧力は残るものの、持ち直し基調にある。住宅投資は、下げ止まっている。公共投資は、増加している。こうした中で、生産は、緩やかな増加を続けている。雇用・所得環境をみると、弱い動きが続いている。この間、企業の業況感は、製造業・非製造業ともに引き続き改善している。

先行きについては、新型コロナウイルス感染症が、当地の経済金融情勢に与える影響などを注視していく必要がある。

### 【各論】

#### 1. 需要項目別動向

公共投資は、増加している。

輸出は、増加基調にある。

設備投資は、増加している。

個人消費は、まん延防止等重点措置が実施されるもとの、サービス消費への強い下押し圧力は残るものの、持ち直し基調にある。

家電販売額、乗用車販売は、持ち直している。スーパー等販売額は、持ち直しの動きが続いている。百貨店販売額は、足もと弱めの動きがみられている。外食売上高、旅行取扱額は、大幅に減少した状態が続いている。

住宅投資は、下げ止まっている。

#### 2. 生産

生産（鉱工業生産）は、緩やかな増加を続けている。

内訳をみると、電子部品・デバイスや生産用機械を中心に緩やかな増加が続いている。

### 3. 雇用・所得動向

雇用・所得環境をみると、弱い動きが続いている。

### 4. 物価

消費者物価（除く生鮮食品）の前年比は、0%程度のマイナスとなっている。

### 5. 企業倒産

企業倒産は、総じて低水準で推移しているが、引き続き新型コロナウイルス感染症の影響が一部にみられている。

### 6. 金融情勢

預金残高は、法人預金や個人預金の増加を背景に、前年比6%台半ばのプラスとなっている。

貸出残高は、既往の企業向けの資金繰り支援融資の増加を主因に、前年比2%程度のプラスとなっている。

預金金利は、低水準で推移している。

貸出金利は、低下している。

以 上